

平成24年度全道ホームヘルプサービス研究大会 開催要綱

主催：北海道ホームヘルプサービス協議会 / 後援：北海道

1. 趣 旨 平成24年4月に介護保険法が改正され、高齢者が地域で自立した生活を営めるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現に向けた取組が進められています。
- また、本会では、制度創設以前から地域の高齢者・障がい者介護を担い、利用者の自立した生活に資するサービス提供を行っているホームヘルパーの現場の状況を国等に対して訴えるため、一昨年度から2年続けて提言書を提出し、サービスの改善を求めてきました。
- そこで、本研究大会は、在宅介護の現場でより良いサービスが展開できるよう、高齢者の認知症に関する知識とサービスの提供におけるケアマネジャーとの連携について考えるとともに、ホームヘルプサービスに必要な技術と知識の向上を図ることを目的に開催します。

2. と き 平成24年7月12日(木) 13:30~17:00 (受付12:30)
平成24年7月13日(金) 9:15~11:50

3. と ころ 北海道第2水産ビル 8階 大会議室他 (札幌市中央区北3条西7丁目1 Tel 011-281-2071)

4. 参加定員 300名
※申し込み多数の場合は、ホームヘルプサービス協議会会員を優先させていただきます。

5. 参加費 ・北海道ホームヘルプサービス協議会会員・準会員 3,000円
・上記以外の方 6,000円
※参加費は当日受付でお支払い願います。

6. 日 程

	12:30	13:30	13:40	15:10	15:30	17:00	17:10	18:00
7月12日 (1日目)	受付	開会	講演Ⅰ	休憩	講演Ⅱ	休憩	総会 (会員のみ)	
	9:15	11:45	11:50					
13日 (2日目)	分科会	閉会						

7. 内 容

[1日目：7月12日(木)]

(1) 開会 (13:30~13:40) 開会挨拶

(2) 講演Ⅰ (13:40~15:10)

「高齢者の理解とその対応～認知症という前に～」

高齢化がすすみ、在宅にて介護を行う割合が増えている中で、高齢者の尊厳を支えるケアの確立が求められております。

本テーマでは、高齢者への理解と認知症の認識を深め、日常生活圏域を基本とした在宅でのホームヘルプサービスのあり方や利用者への関わりについて学びます。

講師：竹中 星郎氏(精神科医)

【講師(竹中 星郎氏)紹介】

千葉大学医学部卒。都立松沢病院、信州大学医学部等を経て、老年医学の発祥である浴風会病院副院長に。その後、医師としての第一線から離れ、大正大学臨床心理学科長、放送大学客員教授として教鞭をとる。

現在は埼玉県内の特別養護老人ホームやグループホーム関係者の集いでケース検討などの指導・助言にあたっている。

主な著書に『老いの心の臨床』(みすず書房)、『高齢者の喪失体験と再生』(青灯社)、『「老い」を生きるということ』(中央法規出版)など。

(3) 講演Ⅱ (15:30~17:00)

「訪問介護事業所とケアマネジャーとの連携について」

自立支援に即した適正なサービスの活用方法と連携の方法を学ぶため、サービス提供の際の目標設定の仕方、ケアマネジャーとの具体的な情報交換（提供しなければならない情報と提供を求める情報）・連携の方法と留意点、居宅サービス計画と訪問介護計画の関連付けや医療と介護の連携等について学びます。

講師：村山 文彦氏（札幌市介護支援専門員連絡協議会 会長）

〔2日目：7月13日（金）〕

(4) 分科会 (9:15~11:45)

○第1分科会（講義・演習）「訪問リハ事業所の理学療法士等と共同で作成する訪問介護計画について」

介護保険制度の改正に伴い、利用者の在宅における生活機能の向上を図るため、サービス提供責任者が訪問リハビリテーションの理学療法士等と連携し、訪問介護計画を作成することについて評価を行う「生活機能向上連携加算」が新設されました。

ここでは、共同で訪問介護計画を作成する際に、理学療法士等が求める視点やプランニングの考え方について、演習を通して学びます。

講師：鈴木 英樹氏（北のくらしと地域ケア研究所（キタライフ）代表）

○第2分科会（講義・討議）「自閉症、発達障がいの理解について」

「発達障がい」は「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいその他これに類する脳機能障がいであってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義されています。

本テーマでは、発達障がいの方への正しい理解とよりよい支援のポイントなど、ホームヘルパーとしての関わり方について学びます。

講師：加藤 潔氏（札幌市自閉症・発達障がい支援センター「おがる」所長）

○第3分科会（講義・演習）「利用者の異常の発見と体調不良時・急変時の対応について」

利用者の異常を発見するための観察のポイントや、体調不良時、急変時にホームヘルパーが行うべき、具体的な対応・報告のポイントについて学びます。

講師：村上 啓子氏（北海道訪問看護ステーション連絡協議会 副会長・訪問看護認定看護師）

(5) 閉会 (11:45~11:50) 各分科会ごとに閉会

8. その他

1日目のプログラムの「講演Ⅱ」終了後、平成24年度北海道ホームヘルプサービス協議会代議員総会を開催します。なお、総会につきましては、別途会員事業所あてに御案内申し上げます。

9. 参加申込みについて

別添＜参加申込書兼アンケート＞に必要事項を御記入の上、**平成24年7月4日（水）【必着】**までに下記あてに、FAXにてお申し込みください。（尚、定員になり次第締め切りとさせていただきます。参加をお断りする場合もしくは希望の分科会を変更して頂く必要がある場合のみ、7月6日（金）までに、お電話等にて御連絡いたしますので、予め御了承ください。）

北海道ホームヘルプサービス協議会 事務局

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 北海道社会福祉総合センター2階
北海道社会福祉協議会・地域福祉部地域福祉課内（担当：片山・前田）
Tel 011-241-3977 Fax 011-271-3956